

平成27年2月28日

（あて先）熊本市長

住 所 熊本市北区
団体名 がんばりっこ仲間・熊本
代表者 職名 代表 氏名 熊野 美弥子



熊本市市民公益活動支援助成金実績報告書

平成26年4月1日付け指令（市協）第1-18号により、平成26年度熊本市市民公益活動支援助成金の交付を受けました事業の実績について、下記のとおり報告します。

記

1 助成事業名 がんばりっこ仲間・熊本

2 助成事業の実施期間

平成26年 4月1日 ～ 平成27年 2月19日

3 助成事業の内容

未熟児・障害児・病児の親と応援団の出会いの場をつくり、さらに保健センターや病院、その他関連機関との連携を図り、情報交換や相談等ができ、子育てに関する知識と技術を向上。また、母親自身が活躍できる場を作り、子育てで孤立しがちな状況を解消するため地域や社会との繋がりが持てるように支援、全国のどこにいても出会いの場と安心できる子育て環境をサポートできるよう、熊本から全国に発信。

4 事業の成果

保健師や病院、療育関係者、行政関係者を巻き込み、未熟児・障害児・病児の親と応援団が出会えるイベントを開催。よって、専門職の方や親同士の情報交換や相談等ができ、悩みや不安の解消とともに今後も気軽に相談できるきっかけ作りとなった。子育てに関する知識・技術も学ぶことができた。また、母親が出展やレクチャーで活躍。地域や社会との繋がりを持つことで、子育てで孤立しがちな状況を解消した。このような支援の必要性をホームページやSNSで熊本から全国に発信し、大きな反響を得ることができた。

5 助成事業の実施状況

(1) 事業収支決算書（様式第16号）

(2) 事業の経過又は成果を証する書類等

(3) その他参考となる資料

	平成 26 年度
事業名	がんばりっこ仲間・熊本
目的	未熟児・病児・障害児を持つ、同じ状況の親同士が交流したり相談できる場所作りをすること。がんばりっこ仲間が各市町村の保健師や病院、関係機関と連携すること。メール・ホームページ・SNS（フェイスブック等）の活用により、外出できない親でも交流や相談できる機会を作ること。以上により親が悩みや不安を抱え込まないようにし、どこで出産しても、どこに引っ越しても、どんな子供を授かって、安心して子育てができるように、心のよりどころとなる場所、仲間作りを目的としています。
事業期間	H26 年 4 月 ～ H27 年 2 月
具体的な事業内容	未熟児・障害児・病児の親の出会いの場をつくり、情報交換や相談等ができ、子育てに関する知識と技術を高めるとともに、母親自身が活躍できる場を作り、子育てで孤立しがちな状況を解消するため地域や社会との繋がりが持てるように支援。また、県や市、保健センターや病院、その他関連機関との連携を図り、全国のどこにいても出会いの場と安心できる子育て環境をサポートできるよう、熊本から全国に発信。 1. N ノート出版 「子どもがNICUに入院するご両親が読むことで何かのパワーになれば」という想いで、少し先にNICU入院から退院・育児を経験したがんばりっこ仲間登録者の皆さんに、経験談やその時の気持ちを書いてもらい綴ったNノート。下記県内病院内に設置、また県外からの要望もあり、福岡県、神奈川県、東京都、埼玉県等の病院へも郵送。 たくさんのご両親から「私だけじゃないんだと、励みになりました！」 現場の看護師・医師・学生等から「お母さん方の気持ちを知ることができました」と感想が聞かれた。 【市内Nノート設置病院】 熊本大学医学部附属病院（NICU/小児科外来／小児内科病棟/小児外科病棟）5冊 福田病院（NICU）3冊 熊本市民病院（産婦人科/NICU/小児科）3冊 併せて、よりたくさんの方に読んでいただけるようNノートをデータ化し電子書籍化した→CD-R「Nノート電子書籍化データ」 【経費】 ・Nノート印刷費： 3,000枚 14,980円 ・電子書籍化費用： 2,412円

具体的な
事業内容

2. イベント『がんばりっこフェスタ〜このゆびと〜まれ♪〜』の開催

【開催目的】

- ①未熟児・障害児・病児の親が医療従事者や行政等の専門職従事者と繋がり、気軽に相談できる関係性を築くこと。
- ②親同士の親睦を深めての仲間づくり&リフレッシュ。
- ③宿泊が難しい障害児・病児も看護師等のサポートで宿泊でき、家族と夏休みの思い出作り

【開催日時】平成26年8月8日(金)10:00～

【開催場所】旅館「よへほの宿」

計画では、開催場所は熊本市としていたが、目的の③宿泊を果たすため、障害児・病児の宿泊・入浴が可能な場所を検討し、山鹿市での開催となった。

【参加対象者】

- ①未熟児・障害児・病児とその家族等。
- ②未熟児・障害児・病児と関わりのある医療従事者や行政関係者。
- ③障害児や病児をサポートしてくださるボランティアの方。

この他、

- *お子さんの成長・発達に心配のある親御さんやご家族
- *お腹の赤ちゃんに、病気や障害があることがわかったというご両親
- *医師・看護師・作業療法士・保健師・教育者など専門職従事者
- *がんばりっこ仲間に興味がある／応援したい！と思っくださる方等

【参加者総数】282名

熊本市(182名) 熊本市外(92名) 福岡県(8名)の参加。がんばりっこ仲間登録に関係なく、すべての未熟児・病児・障害児親、応援団、県や市の行政関係者、病院、施設、その他関連する人と顔を合わせ、繋がることができた。

【実施内容】

7月初旬よりイベントチラシ作成・発送。ラジオ・ホームページやSNSでの告知を行った。

①Nノートやこれまでの活動紹介の展示

活動写真や電子書籍化したNノートの内容を拡大印刷して展示した

②ワークショップ

『音楽療法〜発達促進にも繋がり、おうちでもできる簡単リズム遊び〜』

講師：音楽療法士・服部香代先生 (参加者数:41名)

親子で参加。発達遅延や様々な障害のある子も音に反応し、表情や動きに変化が見られ、ママの表情も和らいだ。「この子にも音や音楽がわかるんだ！」という気づきと喜びがあった。

『絵本の選び方&読み聞かせ』

講師：レクレーションインストラクター・前田恵美子先生 (参加者数:23名)

発達に応じた絵本の選び方や、絵本の読み聞かせ方など目からうろこの情報に、ママたちも絵本への関心が高まった。

③健診&相談ブース

日常ではなかなか相談できないママ達もイベント内で気軽に専門職従事者に相談し、今後も相談できる関係を作るため、保健師・助産師・療育相談員・栄養士・歯科衛生士・看護師に協力していただき、子どもの様子を見てもらったり、体や発達のこと、授乳のこと、離乳食のこと等たくさんの悩みに対し、助言アドバイスいただいた。

具体的な
事業内容

- ④ ママ達による出展・・・ママ達の資格や特技を活かした出展ブースでは、障害児を育てるママ、がんばりっこ仲間応援団の方による出展。ママ達が活躍できる場、いろんな方との出会い・繋がりのお機会となった。
- *カラーセラピスト（がんばりっこママ）によるカラーセラピー
 - *がんばりっこママによる、スイーツデコ体験
 - *がんばりっこのおばあちゃん&応援団による、手作り雑貨展
 - *がんばりっこ仲間応援団による、プリザーブドフラワーアレンジ体験
 - *看護師（がんばりっこママ）のアロマセラピストによる、アロマトリートメント
- ⑤ がんばりっこ仲間の集い
- 講演会「未熟児・障害児・病児育児に必要な知識や技術を高めよう！」
- 午前1回 対象：3歳未満児とその家族
- 午後1回 対象：3歳以上児とその家族
- 参加者：親子14組×2回＝28組（80名）
- 参加費：1組500円
- がんばりっこ仲間設立者であり、先輩ママである、林英美子さんの体験談やそれぞれママたちが辛かったこと、悩んでいること、嬉しいこと、これからの不安などを発表し、共有できる仲間がいることを実感。泣きたいときは泣こう！とみんなで涙したり、子どもの成長を喜び笑ったりと充実した集いになりました。同じ悩みを持つ親同士、皆さん積極的に話ができていた。ここでも専門職従事者のアドバイスを聞くことができ、また、親たちの声を聴いていただくことができた。（保健師・助産師・看護師・行政担当者・教育者も参加。）
- ⑥ ばあばの集い
- 参加者：13名
- 未熟児・障害児・病児を育てるママを支えてくださっているばあば達にも悩みや不安はある！ということで、集いを実施。娘のことも孫のことも心配だけれども、私たちは弱音を吐けないという、ばあばたちに心のもやもやを吐き出す機会になった。（保健師・看護師・保育士も参加）
- ⑦ 保育士による託児
- 利用者：7名
- 開催場所である山鹿市の子育て支援センターと城北高校看護科学生ボランティアの協力により集い時の託児を設置。
- ⑧ 宿泊
- 遠方からの参加者3組が宿泊。
- 未熟児で生まれ、酸素吸入等も必要だったためにこれまで家族旅行にも行けなかった家族が、今回初めて旅館に宿泊して、温泉にも入ることができた。
- （緊急時対応のため、看護師2名（ボランティア）が待機）
- 【経費】
- ・イベントチラシ印刷費：2,000枚 14,608円
 - ・展示パネル用作成費：
 - 電子書籍化したNノートの内容を拡大印刷して掲示（印刷費）
 - 印刷費：A3サイズ 30枚 8,768円
 - 活動写真の掲示（現像費）
 - 現像費：A4サイズ 20枚 5,232円
 - ・ワークショップ講師謝礼 1時間4,000円×2時間×2名＝16,000円

	3. がんばりっこ仲間からの情報発信 がんばりっこ仲間のチラシをさらに充実させ、各地の病院、市町村役場、子育て関連施設、療育施設等へ配布。未熟児・障害児・病児の親御さんに渡していただくよう依頼し、協力いただいている。また、ホームページ・SNS・メールの活用、ラジオ出演、子育て情報誌キャロット掲載（12月8日発行）し、情報を発信した。 【経費】 ・がんばりっこ仲間チラシ印刷費：6,000枚 42,000円 ・子育て情報誌キャロット広告料：1回 10,000円
活動場所	熊本市・山鹿市
期待される効果	Nノート出版、イベント開催、またホームページやSNS、メディアでの情報発信により、たくさんの方にがんばりっこ仲間の事を知っていただいたことで、応援してくださる方も増え、未熟児・障害児・病児を育てる親御さんの大きな励みとなっている。 イベント開催では、母親たちもいろんな人と繋がる機会となり、今後の子育てのパワーになった。出店で母親たちが活躍したことで、他の母親たちへの刺激にもなり、モチベーションが高まっていた。母親が笑顔になると、障害の有無に関わらず、子ども達もみんな楽しそうな笑顔になる。 保健師・看護師・助産師療育相談員等、専門職従事者と繋がることで、相談しやすい関係づくりのきっかけになった。これまで経験できなかった、音楽療法ワークショップでは、子供たちの意外な反応を見ることができて、喜ぶ母親たちの様子を見ることができた。今後、いろんなことにチャレンジしてみようという勇気に繋がったと感じる。 このことを、ホームページなどでは発信したところ、熊本の病院や行政がとても協力的で、がんばりっこ達が皆に見守られているという印象があったようだ。さらに発信していくことで全国の方と繋がり、がんばりっこ仲間の生の声を届けることで医療や福祉サービスの発展が期待できる。

事業収支決算書

項 目		金 額 (円)	内 訳	
収 入	自己資金	14, 000	集い参加費 500 円×14 組×2 回=14, 000	
			事業収益	
			その他	
	市民公益活動支援助成金	100, 000	当該事業助成金交付決定額	
	その他の補助金・助成金			
	寄附金・協賛金			
	その他			
計		114, 000		
支 出	助成対象経費	報償費	16, 000	講師謝礼 1 時間 4, 000 円×2 時間×2 名=16, 000 円
		役務費	12, 412	情報誌掲載広告料 10, 000 円×1 回=10, 000 円 N ノート電子書籍化費用 2, 412 円
		消耗品費	85, 588	N ノート印刷費 3, 000 枚 14, 980 円 展示パネル用作成費 N ノート印刷費 A3 サイズ 30 枚 8, 768 円 展示用写真現像費 A4 サイズ 20 枚 5, 232 円 イベントチラシ印刷費 2, 000 枚 14, 608 円 がんばりっこ仲間チラシ印刷費 6, 000 枚 42, 000 円
			小計	114, 000
	助成対象外			
		小計		
	計		114, 000	